



六中だより 5月号

開校44年目

〒352-0023 埼玉県新座市堀之内3-11-1

TEL 048-478-2764 FAX 048-482-0136

HP <http://www.c-niiza.ed.jp/j-dairoku>

全生徒数：675名



一日の始まりは「あいさつ」から
～ 美しく・温かく・常に前進 ～

校長 齊藤 直之

薄紅色の花を咲かせた桜も散り、校庭の木々の緑がまぶしい季節となりました。

入学式からはや1ヶ月、225名の1年生もすっかり学校に慣れ、毎日、学校生活を満喫しています。

保護者の皆様におかれましては、ご多用の中、先日の保護者会にご参加いただきありがとうございました。

新しい学年、新しい担任との出会いで張り切っている生徒たちを目の当たりにし、一人一人が希望をもち、自分を磨き、持てる力を存分に発揮してほしいと願わずにはいられません。

毎朝、校門で登校してくる生徒に「おはようございます」と声をかけています。その時の子供たちの対応に、大別して4つのパターンがあることに気づきました。「顔を上げ、大きなあいさつをする子」「小さな声で、あいさつする子」「声は聞こえないが、軽く会釈する子」「そっと通り過ぎる子」です。朝早く、まだ本調子でない生徒もいるかもしれませんが、「黙って通り過ぎられる」と少し寂しい気持ちになります。そして、「家で何かあったのかな?」「どこか体の具合でも悪いのかな?」と考えてしまいます。

そのような中、休日に筑波山に山登りに行ってきました。山登りですれ違う際には、「こんにちは」とあいさつをすることがマナーとなっています。山でのあいさつは、一般的に下記のような効果や意味があるとされています。

① 安全確認のため

万が一遭難した場合、あいさつした人が覚えていることもあるので、搜索のヒントになる可能性がある。

② 警戒心を解くため

人が少ない山でソロ登山をすると、「人」に対しても警戒してしまいがちです。そこで、あいさつすることで不

安がなくなる。

③ 情報共有のため

登山していると目的地まであとどれくらいなのだろうか?道は間違っていないだろうか?などと不安になることがある。あいさつすると話しかけやすい状況になるため、軽い会話をすることで情報共有ができる。

このような理由があるそうですが、私は、ただ「あいさつするだけで気持ちいい」ここにつきると思います。私も登っている途中で、何人もの登山客たちと行き交いましたが、みんな笑顔であいさつをしてくれました。山登りの途中で苦しいときに、行き交う人から「こんにちは」と声をかけられると、嬉しい気持ちになります。

また、そのときに顔を上げると、相手の笑顔に癒やされるとともに、周りの景色の良さを再確認でき、また登ろうとする元気が出てきます。あいさつは、そのような不思議な力をもっています。

山のマナーやルールは、みんなが登山を快適かつ、安全にするためのものです。また一方では、他の人への気遣いや自然を大事にする心を育むといったよさもあります。

自然に笑顔が出るということは、心が豊かだということです。だから、あいさつの大切さを生徒たちに教えることは、学校教育の大きな柱であると考えます。先日、「校長先生より先にあいさつができた。うれしい」と話す生徒がいました。その言葉に嬉しい気持ちになりました。六中生全員が、相手の目を見て、先に「あいさつ」を交わせるようになって欲しいと考えています。

「一日の始まりは、あいさつから」そんな合い言葉を用いながら、素敵な笑顔と元気なあいさつのあるゴールデンウィークに。

山登りに行かれる方は、行き交う人とあいさつを。きっと心が豊かになります。